

# 平田ロータリークラブ 週報

平成18年 4月27日

No.1562

発行日 毎週木曜日

## 超我の奉仕

国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー  
第2690地区ガバナー 延原 正

△事務局▽  
島根県出雲市平田町 2280-1  
平田商工会議所 2F TEL 0853-63-3232  
FAX 0853-63-5365  
土・日曜・祝祭日休局  
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00

会長 大谷 孝 副会長 加藤喜久  
幹事 内田節夫 会計 加藤昇

## 例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1562回	坪田 正様	「地球の秘密」に学んで…
第1563回	NPO法人菜の花鉄道を作る会代表理事 馬庭崇一郎様	「菜の花に夢をのせて」
第1564回	一畑電気鉄道(株)社長 大谷厚郎様	

## 出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
50	38	12(4)	82.61	91.49

欠 席 者 原孝・三代・高砂・黒田・飯塚詔・木佐・名原・渡部(石原恵・曾田・原田・杉原)  
M U 4/23大谷・内田・加藤喜・恒松・横野・黒田・田中・木佐・大島卓・持田(益田IM)  
4/26平野(大社)

## 幹事報告

- 4/30(日)出雲中央RC創立15周年記念式典について
  - 集合時間 15:00
  - 集合場所 商工会議所駐車場(タクシーで出かけます)

## スマイル

吉田(出雲中央) 久しぶりにお邪魔致します。よろしくお願いします。

大谷 IM出席ありがとうございました。坪田様スピーチありがとうございます。吉田様ようこそ。

飯塚大 坪田様、出雲中央RC吉田様ようこそいらっしゃいました。  
4/23神仏霊場合同祭事、盛況に終わりました。ありがとうございました。

加藤昇 坪田さんようこそいらっしゃいました。モンゴルでは大変よい思い出を作ってくださいました。  
ひらたCATVのスタッフがお邪魔しております。今後ともよろしくお願いします。

大島治 坪田さんようこそいらっしゃいませ。

高砂 森山、常松両会員には国富地区の為に大変ご尽力いただきありがとうございました。  
大島卓爾会員には青パト講習会、その他で大変お世話いただきありがとうございました。おかげで子供達を安全に見守ることが出来ます。

5月18日例会受付当番 小村 益造・佐藤 初・園 裕

★松江南クラブ(月) ★出雲クラブ(火) 5/2(休) ★平田RAC(第1・3水)  
★出雲中央クラブ(月) 5/1(休)・5/8 ★松江クラブ(水) ★松江東クラブ(木)  
★松江しんじ湖(火) ★大社クラブ(水) 5/3(休)・5/10 ★出雲南クラブ(金)

## 会長挨拶

今日は坪田正氏の卓話「地球の秘密」に学ぶ」があります。CATVが入っています。後日放送されます。ご理解とご協力をお願いします。

先日の益田市でのIMに多数ご参加いただきありがとうございました。IMの主内容は事例発表とヤンキー先生義家弘介氏の講演でした。事例発表は第3、第4、第5グループより1例ずつで第4グループは恒松克己会員の「地球の秘密をモンゴルへ」でした。限られた10分間、大スクリーンを利用した発表はその内容、発表方法も抜群の出来ばえで、みんなに大きな感動を与えました。講評で延原ガバナーより、平田RCのモンゴルへの一連の活動に対し、RI会長賞（広報賞）をRI本部に申請した発表もありました。ご同慶のいたりです。

これから連休に入ります。皆様にはいろいろご予定がありましようが、今年はRCでもいろいろ行事が入っています。出雲の5クラブの会員、家族作品展（4月28日～5月2日）、出雲中央クラブ15周年記念行事（4月30日）、第2690地区ローターアクト地区大会（5月6・7日）があります。特にローターアクト地区大会は平田ローターアクトがホストであり、私達平田RCはそのスポンサーです。ご都合もありませんが、多くの会員のご出席をお願いします。

## スピーチ

### 「地球の秘密」に学んで…

坪田 正 様



「地球の秘密」は個人の作品として唯一国連に展示されました。これは愛華の考えたことが国境や民族の壁を越えた普遍性を持っている事を認めて頂いた結果だと思えます。

小学校4年の時に書いた「地球を守る」という作文が下敷きになっております。

小学校6年生の時に「地球の秘密」は書かれました。地球の歴史に始まり人間といえども自然界のバランスの一部であること、そして現在の地球の問題（温暖化・オゾンホールなど人間の営みによってもたらされる環境破壊）を嘆き、解決を訴えています。

又漫画で表現したのも誰にでも容易に理解して欲しいという願いがあると思えます。

環境や福祉の問題は一人一人の心の問題です。バリアフリーのことでお金をかけて整備を行うより、他者を思いやる心と行動で解決できることが多いのです。

経済活動によりいらぬ物を生み出すために、かけがえの無い自然や環境を破壊する愚行を考え直さなければなりません。愛華の残した「地球を鑑に生きる」事を訴えていきたいと思えます。

